

近畿大学工学部産学官連携推進協力会

ニュースレター

Mar. 2012 Vol.9 No.2

大学発イノベーションの創出に向けて

東日本大震災の発生から1年が経ちました。今なお不自由な生活を余儀なくされている多くの方のお気持ちは察するに余りあります。瓦礫の処理を受け入れる自治体が少しずつ名乗りを上げ、本格的な復興に向かってようやく動き出したところですが、一日も早い復興を切に願っています。

さて、このところの日本経済を象徴する出来事として、平成22年のGDPで中国に抜かれ世界第3位になったこと、平成23年の貿易収支が31年振りに赤字に転落したこと、大手家電メーカーが大幅な赤字を計上したことなど厳しいものばかりです。平成23年は大震災やタイの洪水などが影響したとはいえ、我が国経済の構造的な問題が底流にあります。

我が国産業の低迷は、そのビジネスモデルに原因があると言われていています。我が国が得意な「摺り合せ」を必要としない家電や半導体、太陽電池などの分野では、世界的な規模で安価な部品を調達し製品を供給する韓国や中国のメーカーに席卷されています。拡大するアジアのグローバル市場で韓国や中国、インドと戦えるようなビジネスモデルを構築していくことが必要です。我が国産業の構造的な問題は、平成22年6月に発表された「産業構造ビジョン2010（産業構造審議会産業競争力部会報告書）」に詳しく説明されています。

産業の持続的発展にイノベーションが不可欠であることは論を待ちません。イノベーションは技術革新と思われがちですが、新しいアイデア、創意工夫、価値観なども含む概念です。技術だけではなく、新しいビジネス

モデル、マネジメントの方法など「新しいアイデア」、「変わろうとする試み」は全てイノベーションと言えます。しかしこうすればイノベーションが生み出せるといった決まった手法はありません。イノベーションの芽は様々なところに転

がっており、それに気付くかどうか、気付くために常に問題意識を持つておくことが大切な気がします。ブレークスルーにつながるような画期的な技術革新も普段のイノベーションに挑戦する意識の中から突発的に生まれるものと考えます。

技術革新はイノベーションの大きな原動力です。イノベーションの過程において、大学の役割は主に技術革新にあります。大学の持つシーズを産業の現場で役立てていくため、大学と産業界の間の距離を埋めることが必要です。その意味で、近畿大学工学部産学官連携推進協力会の存在は大きな意義があります。協力会では大学の研究シーズの紹介や情報交換、交流会の開催、社会人リカレント講座の開催などを行っています。近畿大学工学部の知的資源がイノベーションの創出につながるよう協力会の様々な事業を通じてその活動に貢献して参りたいと考えていますので、引き続き皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

近畿大学次世代基盤技術研究所
社会連携センター長 江口 知之



Contents

・次世代基盤技術研究所社会連携センター長挨拶.....	1	広島銀行、もみじ銀行による寄附講座.....	3
・トピックス		大学研究室訪問.....	3
平成23年度総会・講演会.....	2	モデルベース開発人材育成研修.....	4
特別講演会・研究公開フォーラム2012..	2	学内企業説明会.....	4
社会人リカレント講座.....	3	事務局よりお知らせ.....	4

平成23年度総会・技術発表会・技術交流会

平成23年6月16日(木) ホテルセンチュリー21広島において、近畿大学工学部産学官連携推進協力会の平成23年度総会・技術発表会・技術交流会を開催しました。

総会には出席者75名のもとに滞りなく審議が行われ、議案は全て承認されました。なお、本総会で協力会創設以来、会長を務めていただいた岡田 章 会長(広島中央酒販(株) 代表取締役会長)が顧問に就任し、新たに岸田 正之 会長(東広島商工会議所 会頭)が選任されました。

総会后、会員企業及び大学教員による技術発表会を開催しました。

「ゴミの発生が少なく、リサイクル可能なノンシックハウスを目指して」

㈱建築舎ゆわんと村 代表取締役 佐藤 陽一 氏

「ディスクプレートのチャッキングによる歪解析」

ヨシワ工業(株) 技術部開発課 松田 賢二 氏

「生活機能向上のためのロボットテクノロジー」

近畿大学工学部知能機械工学科 准教授 黄 健 氏

その後開かれた技術交流会では、産官学の方々による情報交換が活発に行われました。

(参加者:総会75名・技術発表会119名・技術交流会116名)



特別講演会・工学部研究公開フォーラム2011

平成23年10月31日(月)、研究公開フォーラム2011が近畿大学工学部キャンパスにおいて開催されました。工学部キャンパスでの開催は2006年10月以来5年ぶりとなります。

今回の特別講演は、SWdesign TOKYO代表の和田智 氏をお迎えし、「未来のつくりかた | EVで変わる暮らし」という演題でお話を頂きました。オーディオ初の日本人デザイナーとして数々の名車をデザインした和田 氏による講演とあって、会場となった多目的ホールには和田 氏の講演を聴講しようと大勢の来場者で賑わいました。

特別講演終了後、14時40分よりポスターセッションを行いました。ご来場の方々にパネル等をご覧いただきながら、教員や学生が研究内容の説明を行い、会場は大勢の来場者で賑わいました。工学部、産学官連携推進協力会会員企業、および関係機関による研究成果を紹介したパネル展示や製品展示を行いました。

マルチメディア講義室では、「地域連携による次世代自動車技術の研究」と題して、戦略的研究プロジェクト報告会を開催しました。まず、機械工学科 樹野准教授より「ドライビングシミュレータを活用した人間工学的研究」について、続いて次世代基盤技術研究所 米原特別研究員より「自動車インテリアの質感評価」について、機械工学科 角田教授より「自動車の空力特性に関する新たな評価～非定常モード下における過渡特性～」について、具体的な研究の説明が行われました。

また、施設見学会も行いました。会場となった次世代基盤技術研究所、環境共生型木造実験住宅、および構造実験棟には多くの方が見学に来られました。参加者には、研究・実験施設をご覧いただきながら、教員や学生が施設や研究・実験についての説明を行いました。

最後に、Cafe 栞辺において交流会を行い、多くの皆様にご参加をいただき、親睦を図ることができました。

(参加者:307名)



学び直したい技術者のための基礎講座シリーズ 平成23年度「社会人リカレント講座」開催報告

平成23年度社会人リカレント講座「学び直し～流体の力学」を、東広島市産学官連携推進協議会との共催で開催しました。

今回は、日頃流れ工学に関わっておられる初級技術者を対象に、流れ現象を理解することからはじめ、流れの計測法の紹介や、簡単な実験を通して流れの不思議現象を楽しんでいただく内容でした。

【日 時】平成24年2月4日(土)、2月18日(土)、3月3日(土) 全3回
各回とも10:00～15:00

【場 所】近畿大学次世代基盤技術研究所 会議室、実験室

【講 師】近畿大学工学部 角田 勝 研究所長・教授

【内 容】①流体の特性とその取り扱い方、流れを表す方法
②管路系内の諸損失と流れの計測法、流れが及ぼす力
③管内流れや物体周りの流れ特性
※流体工学応用実験室見学

【テキスト】「流体の力学」(朝倉書店)

【受講料】5,000円(テキストおよび資料代等を含む)

【受講者】32名



広島銀行・もみじ銀行による寄附講座

平成20年度に産学連携協定を締結した広島銀行およびもみじ銀行による寄附講座は平成21年度開講し、平成23年度3回目の講座が開催されました。

広島銀行の講義「起業と経営」は、起業家として企業とベンチャー企業の成長に必要な経営資源とその獲得などを学ぶ内容で、理論と起業家の事例を通して、起業・ベンチャー企業の創立ができる実践能力も学べるものです。

講義「原価会計情報と税制」は、会計情報を正確に理解するために必要な現代会計学の基礎知識の体系的な把握と税制について学ぶ内容で、そのうちのもみじ銀行の講義では実践的な会計知識に触れると同時に金融業界からの起業の見方を学べるものです。

両講義とも“技術経営特修プログラム”で全学科を対象とした選択科目で、工学部の学生が金融業界の生の声を聞ける貴重な講義でした。平成24年度も引き続き開講予定です。

平成23年度 大学研究室訪問 報告

(公財)ひろしま産業振興機構および東広島市産学官連携推進協議会の主催による恒例の大学研究室訪問が下記の通り開催されました。

日 時:平成 23年11月8日(火) 14:00～16:00

研究室:工学部知能機械工学科 知能ロボティクス研究室

研究者:黄 健 准教授

講 演:「社会で役立つ賢い機械(ロボット)への技術展開」

ハプティックデバイス(視覚・触覚・力覚をフィードバックし、バーチャルリアリティーや遠隔操作に用いる小型ロボット)を用いて人間の力感覚を解明する研究を行っており、ゲーム、医療福祉、宇宙開発などの分野への応用が期待されている。人間上肢の運動に着目し、多指ハンドを持つアームロボットの運動制御の研究に取り組んでおり、人間に近いロボット技術の高度な応用と実用化をめざしている。

見 学: 知能ロボティクス研究室、次世代基盤技術研究所

参加者: 企業等29名



モデルベース開発人材育成研修

(公財)ひろしま産業振興機構の主催による「モデルベース開発人材育成研修」が近畿大学と福山大学を会場に、平成22年度に引き続き開催されました。

近畿大学次世代基盤技術研究所での研修は下記の通りです。

日時:平成23年8月29日(月)～10月6日(木) 全7回 10:00～17:00

対象者:中国地域内企業の開発担当者(理系出身者)および理系学生

講師:工学部知能機械工学科 竹原 伸 教授

〃 友國 伸保 講師

他、広島大学、福山大学、広島市立大学等の講師陣

内容:①モデルベース開発の概論、②MATLAB操作演習、③Simulink操作演習、
④制御系設計の基礎、⑤オープンソースの活用、⑥制御システムの検証、
⑦システム工学概論、制御システム開発事例、個別システム開発への応用
(⑧公開講座「機能安全ISO26262」)

受講料:無料

参加者:企業12名、学生5名

好評につき、平成24年度も開講予定とのことです。

学内企業説明会

工学部では毎年学内企業説明会を開催しており、今年で通算8回目を数えます。昨今の就職難を考慮して、年々参加企業数も増加し、盛大になっています。

今年度は2月7日(火)～9日(木)の3日間で、合計275社と過去最多の企業にご参加いただきました。参加企業の本社内訳は広島県76社、東京都90社、大阪府31社、その他78社と全国各地よりお越しいただいています。学生は学部3年生、大学院1年生が3日間合計で延べ約1200人と就職希望者はほぼ全員参加しました。例年、参加いただいた企業より多数の内定を頂戴しています。

今年には特に厳しい就職状況の中、工学部は内定率94.4%(平成24年3月31日現在)と健闘しています。



事務局よりお知らせ

<平成24年度総会開催日程について>

平成24年度総会は6月14日(木)ホテルセンチュリー21広島にて開催予定です。

<会員情報変更について>

異動等により、代表者名、担当者名、住所等が変更になった場合は「会員情報変更届」にてご連絡ください。

<協力会ホームページについて>

平成24年度、協力会は設立10周年となります。これを機に会員の皆さまにご活用いただけるようホームページをリニューアルいたします。

リニューアルに伴い、ログインID、パスワードを新たに発行します。後日ご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

近畿大学工学部産学官連携推進協力会
ニュースレター
Vol.9 No.2 (Mar. 2012)

近畿大学次世代基盤技術研究所事務局
〒739-2116 東広島市高屋うめの辺1番
Tel 082-434-7000 Fax 082-434-7020
URL <http://h-kindairenkei.org>
E-Mail riit@hiro.kindai.ac.jp